

今回策定された中期目標素案で 市立総合病院の機動性や柔軟性は発揮できるのか

市立総合病院の地方独立行政法人化に向け、中期目標素案が策定されたが、他都市の先行事例と比べて細かな数値目標が掲げられており、これが病院運営の足かせとなって機動性や柔軟性を奪い、同法人化のメリットを損なうことになるのではないかと、次のような質問があった。

市長の政治姿勢

大牟田市立総合病院の
地方独立行政法人化

問 中期目標素案では細かな数値目標が規定されているが、法人自らが考えたことを法人の責任で実行でき、機動性と柔軟性が増すという同法人化のメリットを損なうことにならないか。

答 中期目標は、市が法人に達成すべき業務運営の目標を付与することを目的とし、中期計画の指針のほかに業務実績の評価基準となる。中期目標素案では、今後も地域に必要な医療を提供するため、公共性と経済性を両立させ得る健全経営を法人に期待するという考えを基本方針として、患者本位の医療の実践等七つの重点項目を掲げ、数値目標が掲げられるものは数値を掲げ、数値化できないものは実施時期の明確化を図った。こうした目標設定における数値化は総合計画等取

り入れており、その手法に準じたものである。



市立総合病院

暮らしの再生と 市政運営

問 構造改革路線の上で進めてきた市政運営は、市民生活を守るといふ原点に立ち返り見直していくべきだが、地域再生への展望とあわせて市民生活の立て直しに向けた考えを聞きたい。

答 九州新幹線、有明海沿岸道路、三池港を確実に完成させ、有効に活用し、産業の振興による雇用の拡大を図ることこそ、本市の再建と市民生活を立て直す取り組みになると確信する。

定住自立圏構想における 中心市宣言

問 同構想で活力と魅力ある地域づくりが本当に進むのか。圏域内での格差が広がるのではないか。

答 中心市と近接する市が連携・協力を図ることこそ、それぞれメリットを生み出せ、格差は生じないと考える。

核兵器廃絶 平和の問題

問 核兵器廃絶平和都市宣言を行った市として、平和市長会議に加盟するなど、核兵器廃絶への市民意識を高めるべきではないか。

答 同宣言以来、本市では平和のとうとさを考える諸事業を行っており、この取り組みが戦争の悲惨な記憶をとどめ、平和を希求する心を芽生えさせると確信している。

平和市長会議は、昨年から国内への加盟の案内があり、現在三百三十八の自治体が加盟している。本市としては、他市の動向にも注

視し、検討を行いたい。

男女共同参画プランの 推進

問 女性が個性や能力に尽力を発揮できる社会環境はいまだ整っていないと言えず、固定的な性別役割分担の意識や慣行が地域や職場の中に根強くある。

男女共同参画を促進する啓発活動の推進のための具体的な取り組みを聞きたい。

答 同参画社会の形成の促進に当たっては、同参画社会基本法及び同参画推進条例の理念や考え方が正しく理解され、同参画社会の形成を必要とする意識のさらなる醸成が重要である。

具体的には、同参画推進条例や同参画プランのパンフレット配布、出前講座の実施、広報おおむたやホームページ、大牟田市女性センターだより・レインボーなどによる広報啓発及び関係団体との協働による同参画フェスタの開催など、意識の醸成に取り組んでいる。